

教育方法の理論と実践

科目ナンバリング EDU-217
選択 2単位

呂 小耘

1. 授業の概要(ねらい)

- (1)幼児教育現場において必要とされる教育方法理論の基礎知識の獲得を授業の目的とする。
- (2)グループワークや発表等を通して、幼児の理解・発達に応じた保育方法、小学校や家庭との連携の方法を深く考察する。

2. 授業の到達目標

- (1)幼児教育における教育方法の原理、方法や技術に関する基礎理論を理解できる
- (2)幼児の理解・発達に応じた保育方法、小学校や家庭との連携の方法を考えることができる
- (3)幼児教育現場におけるICTの活用実態を理解し、活用の仕方を考えることができる

3. 成績評価の方法および基準

- (1)授業への参加・授業中の課題: 50%
 - (2)学期末試験: 50%
- 以上の2点を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
文部科学省 幼稚園教育要領 フレーベル館
厚生労働省 保育所保育指針 フレーベル館
内閣府 幼保連携型 認定こども園教育・保育要領 フレーベル館

5. 準備学修の内容

- (1)毎回の授業での学びを各自まとめる。
- (2)幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領は各自持参し、読む習慣をつける。

6. その他履修上の注意事項

未来はチームの一員として動くことを意識し、授業内のグループワーク等に積極的に参加する。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 幼児期にふさわしい教育の方法(1) 環境を通しての教育
- 【第3回】 幼児期にふさわしい教育の方法(2) 遊びを通しての指導
- 【第4回】 幼児の主体性の育成と「見えない保育」
- 【第5回】 幼児の主体性と保育者の意図・役割
- 【第6回】 保育方法と形態
- 【第7回】 外国の保育方法とその影響
- 【第8回】 保育における評価
- 【第9回】 幼児期の教育と小学校教育の関連
- 【第10回】 円滑な接続のための幼小連携
- 【第11回】 家庭や地域と連携した保育
- 【第12回】 幼児教育におけるICTの活用(1) グループワーク
- 【第13回】 幼児教育におけるICTの活用(2) 発表
- 【第14回】 多文化社会への対応
- 【第15回】 まとめ(LMS)